

Learning 学習

Environment 環境

Genetics 遺伝

Self 自己

“犬のトレーニング”という概念は、
犬が日々あらゆる経験から絶えず
学習し続けていることを踏まえると、
実際には単純化されすぎています。

いわゆる「服従」や「コマンド」を教えるこ
とを犬の教育と考えるよりも、
犬が一生を通じて行われる学習の大切さをし
っかり理解するほうが、
はるかに良い結果につながるでしょう。

ちょうど子どもが絶えず物事の意味や
「どうすればうまくいくのか」を
学んでいるように、犬もまた、
一日中さまざまなことを
考えながら学習を
続けているのです。

あなたの役目は、
親が子どもにするように
「こうすれば上手くいくんだよ」
ということを教え、
犬が自信をもって
行動できるように
導いてあげることです。



あなたの愛犬は、ほかの動物と同じく、
日々めまぐるしい環境変化の影響を
受けながら生きています。

暖かい寝床や愛情を注いでくれる人たちに
囲まれる状況は、犬にとって、
理想的な環境でしょう。

しかし、普段あまり意識しないような
ことでも、犬の健康や行動に大きな影響を
与えることがあるのです。

家の中での出来事や家族とのふれあいは
もちろん、毎日の散歩、さらには
近所で起きていることまで、犬の感情や
行動を大きく左右する要因になります。

目で見えるもの、聞こえてくる音、
そして鼻で嗅ぐにおい——
そのすべての刺激が犬の健康に
大きく影響を及ぼしています。

もし愛犬の行動に戸惑うことが
あったら、まずは犬の
身の回りで何が起きているか
を探ってみましょう。

意外な環境変化が、
その行動を引き起こす
原因になっているかもしれません。



愛犬のルーツをご存じですか？
もちろん遺伝情報を知っていても、
すべての行動を正確に予測できる
わけではありません。

しかし、愛犬の祖先が、もともと
どんな目的で交配されたのかを
知っておけば、その名残りとして
出てくる特徴的な行動にも
対処しやすくなるでしょう。

犬は長い世代にわたり、
人間が役立つと考えた行動——
家畜の追い込み、害獣の駆除、
財産の警護——
などをさせるために慎重に
交配されてきました。

その結果、いまでは数百種類もの
犬種が存在しています。

愛犬のDNAに刻まれた
「仕事」の傾向を
知ることは、
飼い主として、
より深い理解と洞察を
得るために
大いに役立つでしょう。



犬に見られる「問題行動」は、
感染症、痛み、病気などの
医学的な問題が原因で
引き起こされることが多くあります。

また、その一方で、年齢や性別に
ともなう成長過程の一環として起こる
ごく自然な行動であるケースも
決して珍しくありません。

内的要因（健康など）による行動を、
単なる「服従の問題」とみなしてしまうと
根本的な解決に繋がりにくくなります。

まずは必要な検査や診察を受け、
原因をしっかりと把握しましょう。

もし愛犬の行動で
気になることがあれば、
すぐに獣医師に
相談しましょう。

あなたの愛犬は
かけがえのない個性を持つ
大切な存在であることを、
どうか忘れないでください。



brought to you by...



...it ALL matters

日本語訳：Natsumi Tsuji